

## (10) 同志社大学教育G P シンポジウム 学びの原点 プロジェクト型教育の挑戦！ －誰が何をいかに評価するのか？－に参加して

小山 敦弘

平成 24 年 2 月 18 日（土）に開催された同志社大学教育G P シンポジウム「第 3 弾 学びの原点 プロジェクト型教育の挑戦！－誰が何をいかに評価するのか？－」に参加した。本シンポジウムは、同志社大学 PBL 推進支援センターが主催したものである。近年、学生が主体となって課題に取り組み、チームで協働して創造的・社会的学びを展開する PBL 型教育は、多くの教育現場で取り込まれつつある。しかし、「誰が」「何を」「いかに」評価するのかについての議論については未だにはっきりしない。そこで、教育における評価について、広く問いを投げかける。このことが本シンポジウムの趣旨である。

本シンポジウムは、午後 1 時から開催され、初めに本シンポジウムの趣旨についての説明および挨拶があり、基調講演、学生発表、学部で PBL 型教育に取り組む東京電機大学および専修大学の報告があり、最後にパネルディスカッションがあった。以下にそれぞれについての説明を行う。まず、基調講演では、「教育とは何かの基本に戻って PBL の評価を考える」をテーマに京都大学高等教育研究開発推進センター准教授 溝上慎一 先生の講演がなされ、PBL 型教育の評価とは何かについての提言がなされた。次に、学生の成果発表が 2 件報告された。1 件目は、「心ぬくもる「絵本」に出会う～絵本ソムリエ・プロジェクト～」で、2 件目は「京都の織物文化活性化計画！～織物の伝統技術について考えよう～」であった。その後、東京電機大学および専修大学で行われている PBL 型教育の現状報告と評価方法についてのほうこくがなされた。以上の講演および報告を受けたうえで、演者らによるパネルディスカッションが行われ、評価方法の難しさや学生が評価に対してどのように考えているかなどの意見交換がなされ、PBL 型教育の評価の難しさ重要性について議論された。

今後も PBL 型教育に関する情報の収集を継続するとともに、専門家との交流を深化・拡大させて行く予定である。

第3弾

文部科学省 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム  
同志社大学 PBL推進支援センター 2011年度シンポジウム

学びの原点プロジェクト型教育の挑戦！  
誰が何をいかに評価するのか？

2012年2月18日(土)

13:00~16:40

同志社大学 今出川校地  
明德館1番教室

京都市上京区今出川通烏丸東入  
京都市営地下鉄烏丸線今出川駅下車

入場  
無料

先着150名

挨拶

土田 道夫 (同志社大学副学長  
教育支援機構長・法学部 教授)  
山田 和人 (同志社大学PBL推進支援センター長  
文学部 教授)

基調講演

「教育とは何かの基本に戻ってPBLの評価を考える」  
溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター 准教授)

発表

同志社大学プロジェクト科目  
学生報告1  
学生報告2

報告

「東京電機大学情報環境学部における  
PBL型授業の評価について」  
土肥 紳一 (東京電機大学情報環境学部 准教授)  
「専修大学ネットワーク情報学部における  
PBL型授業の評価について」  
飯田 周作 (専修大学ネットワーク情報学部 教授)

パネル  
ディスカッション

「誰が何をいかに評価するのか？」  
溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター 准教授)  
土肥 紳一 (東京電機大学情報環境学部 准教授)  
飯田 周作 (専修大学ネットワーク情報学部 教授)  
同志社大学プロジェクト科目 学生  
【司会】同志社大学PBL推進支援センター長・文学部教授 山田 和人

申込 メールまたはFAXにて先着150名受付 詳細は裏面

締切 2012年2月13日(月)

主催 同志社大学 PBL推進支援センター (京都市上京区今出川通烏丸東入 京都市営地下鉄烏丸線今出川駅下車)

同志社大学

問合先：教育支援機構教務部教務課 TEL.075-251-4630 FAX.075-251-3064 e-mail. ji-pbl@mail.doshisha.ac.jp  
<http://www.doshisha.ac.jp/academics/activity/sympo120218.php>  
<http://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/pbl/>  
<http://www.doshisha.ac.jp/academics/institute/ppsc/>

同志社大学

文部科学省 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム  
同志社大学 PBL推進支援センター 2011年度シンポジウム

締切

2012年  
2月13日(月)  
先着150名

1. 件名「PBLシンポジウム参加申込」 2. 氏名・所属(勤務先・役職など)
3. 連絡先(住所・電話番号・e-mail)
4. 懇親会参加有無 を明記のうえ、下記までお申し込みください。

FAX. 075-251-3064 e-mail. ji-pbl@mail.doshisha.ac.jp

プログラム	<b>挨拶</b>	
	13:00~13:10	土田 道夫 (同志社大学副学長 教育支援機構長・法学部 教授)
	13:10~13:20	山田 和人 (同志社大学 PBL 推進支援センター長・文学部 教授)
	<b>基調講演</b>	
	13:20~14:00	「教育とは何かの基本に戻って PBL の評価を考える」 溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター 准教授)
	<b>発表</b>	
	同志社大学プロジェクト科目	
	14:00~14:15	学生報告 1
	14:15~14:30	学生報告 2
	14:30~14:45	<b>休憩</b>
<b>報告</b>		
14:45~15:00	「東京電機大学情報環境学部における PBL 型授業の評価について」 土肥 紳一 (東京電機大学情報環境学部 准教授)	
15:00~15:15	「専修大学ネットワーク情報学部における PBL 型授業の評価について」 飯田 周作 (専修大学ネットワーク情報学部 教授)	
<b>パネルディスカッション</b>		
15:15~16:40	「誰が何をいかに評価するのか？」 溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター 准教授) 土肥 紳一 (東京電機大学情報環境学部 准教授) 飯田 周作 (専修大学ネットワーク情報学部 教授) 同志社大学プロジェクト科目 学生	
(司会)同志社大学PBL推進支援センター長・文学部 教授 山田 和人		

参加申込書

文部科学省 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】 大学教育推進プログラム  
第3弾 学びの原点 プロジェクト型教育の挑戦!  
— 誰が何をいかに評価するのか? —

ふりがな			
氏名			
勤務先			所属・役職
連絡先	住所		
	TEL	FAX	
	e-mail		
懇親会	参加 ・ 不参加		※参加費：3,000円・当日シンポジウム受付で申し受けます

※お申し込みの際の個人情報は、申し込み後のお問い合わせや連絡のために使用します。また、本センターが主催する教育・研究活動についてのご案内などを送付させていただく場合があります。利用目的以外の使用、第三者への提供はいたしません。本学個人情報保護方針(右記ホームページアドレス参照)に従い、適正に管理します。 <http://www.doshisha.ac.jp/privacy/>